

こねはちば 市民病院です

「10年後の市民病院」

病院長
黒木 嘉人

昨年11月3日に開かれた第5回病院祭で「語ろう、この地域の命と健康〜今と10年後〜」というテーマにて地域医療シンポジウムを開催しました。

地域の福祉、介護、保健、行政の各方面で活躍されている方々と市民代表の計8名の皆様から発言を頂きました。これから10年後は75歳以上の高齢者人口が最高に達するために医療・介護・福祉の需要が極めて多くなり、一方で支える若い人達が増えつつも少なくなっているという、いわゆる「2025年問題」が訪れるからです。

市民病院としては、10年後に向けて次のような方向性をお話しました。



- ① 地域包括医療・ケアの充実…医療・介護・福祉・保健と一体となって高齢者が安心して最期まで住み慣れた地域で過ごせるような社会づくりを目指します。
 - ② プライマリーケア（一次医療）と二次救急を継続維持します。
 - ③ 医療人材を確保します…医師不足については、医学生教育を始め、初期研修医、後期研修医を確保しつつ、さらに常勤医師を増やす事、看護師の育成・教育にも力を入れ、また不足している薬剤師確保を目指します。
 - ④ 必要とされている医療の取捨選択…医療レベルを保つために必要な医療機器は備えます。現在のような多くの診療科が当地域に全て必要かどうか再検討することも必要です。
 - ⑤ 病院存続のための健全経営を目指します。
 - ⑥ 現在の建物で築35年と老朽化します。夢としては、医療・介護・福祉・保健・教育（保育）などが一力所に集結した「医療福祉村構想」を考えました。
- 皆様のご理解とご支援をお願いします。

まちを守る！消防

第62回全国文化財防火デーに伴う消防訓練について

1月26日は、「文化財防火デー」です。昭和24年1月26日に、法隆寺の金堂が炎上し壁画が焼損したことを契機として制定されました。

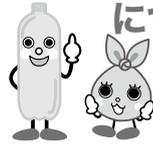
市消防本部では、この日を中心に20日に聖園寺（宮川町種蔵）、21日に桂本神社（岡町東雲）、27日には飛驒の山樵館（古川町若宮）で消防訓練を行います。

これからの季節は空気が乾燥し、気温が下がるにつれ暖房器具の使用機会が多くなるため、火災が発生しやすいとなります。ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する等、火災には十分気をつけましょう。



飛騨市の ゴミ処理

第6回 「一般廃棄物と 産業廃棄物 について」



第6回は「一般廃棄物と産業廃棄物」についてご紹介いたします。

今回は少し難しいお話ですが、基本的な内容です。

ごみ（廃棄物）は一般廃棄物と産業廃棄物に分かれています。

● 一般廃棄物…日常生活に伴って（一般家庭から）発生する。

● 産業廃棄物…事業活動に伴って発生する。

ただし、事業活動に伴って発生したごみでも「産業廃棄物」にならない物があります。

例えば「紙くず」は、紙製品製造業から排出された場合は「産業廃棄物」ですが、サービスマン等から排出された場合は「一般廃棄物」（事業系一般廃棄物）となります。

法律では20種類の「産業廃棄物」が指定され、それ以外を「一般廃棄物」としています。

ごみ（廃棄物）を適正に処理するために「廃棄物処理法」（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）では許可制度を採用し、必要な規制をしています。

● 廃棄物処理法の主な許可の種類

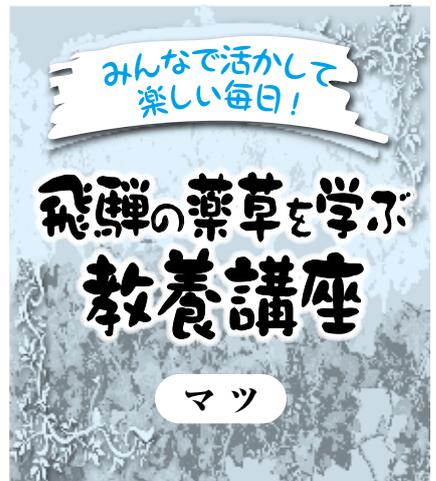
- ・ 一般廃棄物収集運搬業
………市町村長の許可
- ・ 一般廃棄物処理業
………市町村長の許可
- ・ 産業廃棄物収集運搬業
………都道府県知事の許可
- ・ 産業廃棄物処理業
………都道府県知事の許可

※許可の無い業者が、ごみの収集運搬や処理を業として行うことは違法行為となります。



発泡スチロールやプラスチック製品は、家庭からの物は「一般廃棄物」ですが、事業活動から発生すると「産業廃棄物」です。

問・クリーンセンター 0577-753069
リサイクルセンター 0577-752121
環境課 0577-737482



これから本格的な冬の到来ですね。冬は雪に覆われる飛騨、薬草は春までお預け？大丈夫です。冬でも採取可能なものにもマツがあります。

今回は冬の寒さ対策にも効果的なマツについてご紹介いたします。

松飾りなどで冬でも見かけるマツは常緑樹で、一年中青い葉があります。そのため、採ろうと思えば冬の飛騨でも採ることができると大変な難いものです。しかも血をきれいにして血流を促進し、体を温めるので、この時期冷えに悩まされている方にもおすすめです。

松に含まれる精油成分が作用して血管が拡張し、血管中のコレステロールが取り除かれ、動脈硬化を防ぎ、喘息の発作を鎮めて気持ちを沈静させます。更に脳の血流も改善されるのでボケ予防もしてくれます。また、葉緑素などの作用で赤血球の造血作用が強化され、血液の老化も防いでくれるなど、血液関係部分が健康になります。これは一時的な血液の汚れも長期的な汚れも関係なくきれいにしてくれます。

例えば登山中に疲れたと感じたらマツの葉を2、3本口に入れて噛んでみてください。

不思議と疲れもとれてきます。これもマツの血液浄化の結果です。

活用方法ですが、手軽な方法として、マツの新葉を煎じて飲むと風邪に効果があり、寝る前に飲むと体が温まり、睡眠の質が上がります。またそのまま煮詰めたものをしよやけに塗ると3日程度で治ります。なかでも村上先生がおすすめているのが松葉サイダーです。

生の松葉を刻んで2リットル程度の瓶に入れ、砂糖100g、ラム酒と水を八分目まで加えて、夏は5日、冬は10日間ほど天日に当てて発酵させます。シユワシユワとなって来たら飲むと松葉サイダーです。さらに冷暗所で置くこと発酵が進んでお酒になります。

この発酵酒は血圧安定、動脈硬化予防、さらに糖尿病、神経痛に効果があり、胃腸を丈夫にして喘息を止め、強壯作用もあります。長期間同じ瓶に入れておくとマツヤニがついて取れにくくなりますのでご注意ください。

松にも色々ありますが、苦味や発酵の関係からアカマツをおすすめします。その中でも若葉の方が風味はマイルド、樹齢が長いほうが効果は高いそうです。

冬の心強い味方、マツをうまく活用して健康で寒さを乗り切りましょう。



（村上光太郎「薬草を食べる」より）

問 企画課 0577-73-6558